

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	ビジネストレーニング2	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	パワーポイント、企業配付資料				
担当教員情報					
担当教員	田中朋子/森永直樹/鈴木裕大/富樫咲子			実務経験の有無・職種	有・マネジメント/プライダル
学習目的					
コンサート・イベント業界の業種、職種への知識・理解を通し、業界で生き抜くための人間力・スキルを身に付ける。また本学科の学生の多くが目指すサービス業界の中での職種に関しても、エンターテイメントだけに留まらず、ホテル、プライダル、旅行、アミューズメント、レジャー、マスメディアなどの情報を幅広く学ぶことで、就職活動がより円滑に進められるようにする。また、コンサート・イベント業界以外の職種（メーカー、金融、情報・通信・商社・小売・サービスなど）にも目を向けさせることで、学生の職業観を広げ、就職活動の幅も広げられるようにする。					
到達目標					
①コンサート・イベント業界の仕事（コンサート制作、コンサート照明、コンサート舞台、コンサートPA、イベント企画）への知識・理解を高めることができるようにする。②コンサート・イベント業界以外の一般職（メーカー、金融、情報・通信・商社・小売・サービスなど）を含め、職業観を広げることで、就職活動を活発化させることができるようにする。③本講義内容を通し、各々が感じたこと、新たに発見したこと、疑問に感じたことなどを自身の中で吸収し、整理し、まとめ、考えを発信する力を身に付けることができるようにする。					
教育方法等					
授業概要	基本的にパワーポイントを使用し、担当教員が口頭で説明し、補助資料、映像などで補足を講義を行う。 講義形式ではあるが、大所帯での受講になるため、主体性を少しでも上げるため、個人ワークの他、学生同士でコミュニケーションを取らせながら考えさせるアクティブラーニングを取り入れ、理解力、思考力、判断力を高められるようにする。				
注意点	講義を聞き取り、自身の頭の中で整理しながらまとめる能力を高めるため、メモを取る習慣を付けさせるようにする。 また、補足資料としてアンケート準備することで、授業への意見や感想を学生からもらい、次回以降の講義にフィードバックできるようにする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	100%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	プランナーの仕事の2面性「営業」	ウェディングプランナーの仕事である「新規顧客セールス」について学ぶ			
2回	プランナーの仕事の2面性「企画」	ウェディングプランナーの仕事である「プランニング」について学ぶ			
3回	イベント運営会社	イベント業界における人材派遣方法、ディレクションについて学ぶ			
4回	コーチングのススメ	コミュニケーション手段の1つであるコーチングを学ぶことで対話・交渉能力を上げる			
5回	配券してみよう①	Zepp DiverCityを想定し、配券業務を体験する			
6回	配券してみよう②	南総文化ホール（館山）を想定し、配券業務を体験する			
7回	ベンチャー企業で働く	株式会社Chamを招きベンチャー企業の特徴、メリットデメリットを理解する			
8回	新人発掘・育成	新人発掘育成についてのノウハウを理解し、新人発掘のコツを知る			
9回	キャスティングPRの仕事	株式会社RANDを招き、イベント制作におけるキャスティングPR業務について理解する			
10回	編曲	原曲をアレンジする編曲の仕事の重さ、必要性について知る			
11回	イベントプランナー	ヒビノメディアテクニカル株式会社を招き、企業向けイベント制作について理解する			
12回	映像オペレーターの仕事	株式会社映像センターを招き企業向けイベントにおける映像制作メンテナンス業務について理解する			
13回	プレイガイド	イーブラスを例にとり、プレイガイドの縮図、お金の流れを知る			
14回	今さら聞けない業界の常識、用語	コンサート・イベント業界における常識・用語の総復習			
15回	総括・まとめ	今後のキャリアを見据えて、人生設計をする			